

重点施策	中期環境行動計画目標	2014 年度目標	2014 年度実績	自己評価
<b>1. 環境配慮製品</b>				
1-1 各国環境ラベルの積極的な取得と新基準への対応	(1) ブルーエンジェル、エコマークをはじめとして、エナジースター、ノルディックスワン、EPEAT、中国十輪マークなど、販売拠点の要望に確実な対応を図る。	該当全製品に関して環境ラベルを取得。	該当全製品で主要な各国環境ラベルを取得。	○
	(2) ブルーエンジェル、エコマーク新基準(2012 年以降)にも適合し、継続して取得する。	エコマークの新基準に適合する。	達成。	○
1-2 製品の省エネ性向上	(1) 該当製品はエナジースター、ブルーエンジェル、エコマーク、中国能效、日本のトップランナー基準など、各種省エネ基準にすべて適合する。	該当全製品に関して各国の省エネ基準に適合する。	達成。	○
	(2) 各々のカテゴリで業界トップレベルの省エネ性能を達成する。	業界トップレベルの省エネ性能を達成する。	すべてのカテゴリで達成。 特に家庭用マシンでは、低ノイズと両立させ省エネ性を向上。	◎
1-3 エミッション(TVOC、UFP、騒音など)基準への適合	(1) 基準に対して十分な余裕を持って適合する。	該当全製品に関してエミッション基準に適合する。	達成。	○
	(2) ブルーエンジェル新基準、独新法(UFP)などの新基準にも適合する。	ブルーエンジェル新基準(UFP)に適合する。	主要製品すべてで適合を完了。	◎
1-4 リサイクル材料の使用率・量の拡大	該当製品すべてで、拡大する各種基準に適合する。	該当全製品に関して EPEAT 基準に適合する。	達成。	○
1-5 リユース・リサイクル性の向上(本体、消耗品とも)	(1) 消耗品再生事業で再生工数削減のための設計の推進、交換部品の削減・低コスト化を図る。	インカートリッジリサイクル率 50%以上を維持。	達成。	○
	(2) クローズドマテリアル使用可能部品の拡大を図る。			
1-6 梱包最適化の推進による物流コスト・CO <sub>2</sub> 削減	(1) 物流コスト削減のため、梱包最適化と物流で CO <sub>2</sub> 排出量削減を両立する。	前製品に対し、梱包材のサイズ・重量の削減を図り、物流における CO <sub>2</sub> 排出量削減につなげる。	達成。 特にモノクロレーザー新製品では、梱包レイアウトを横置きから縦置きに変更して積載効率を改善。	◎
	(2) 適正材料の選定およびサイズ、重量の削減を推進する。			
<b>2. 事業所の環境負荷削減</b>				
2-1 グループ全体の CO <sub>2</sub> 排出量削減	物流を除き、国内事業所、海外生産拠点、海外販売拠点をグループ全体で総計し、CO <sub>2</sub> 排出量を年率 1%削減する(売上高原単位比)。	2013 年度比 1%削減。	2013 年度比 11.0%削減を達成。	◎
2-2 国内 8 事業所の CO <sub>2</sub> 排出量削減	CO <sub>2</sub> 排出量を年率 1%削減し、2015 年度の CO <sub>2</sub> 総排出量を 1990 年度比 25%減とする(絶対値)。	同上。	2013 年度比 2.3%削減を達成。 2020 年度中期目標に対しては、25.2%削減を達成。	○
2-3 海外生産拠点(USA 除く)の CO <sub>2</sub> 排出量削減	CO <sub>2</sub> 排出量を年率 1%削減する(売上高原単位比)。	同上。	2013 年度比 6.6%削減を達成。 2020 年度中期目標に対しては、31.7%削減を達成。	◎
2-4 物流 CO <sub>2</sub> 排出量削減	排出量のマネジメント基準を定め、CO <sub>2</sub> 排出量を年率 1%削減する(原単位比)。	同上。	2013 年度比 9.5%削減を達成。	○
2-5 生産拠点における水利用量の削減	2015 年度の水利用量を 2010 年度比で 5%削減する(売上高原単位比)。	単年度の目標設定は無し。	2010 年度比 26.4%削減を達成。	○
2-6 海外生産拠点における環境保全活動のグローバルマネジメント	生産拠点所在国の環境法規制の順守や、廃棄物の適正処理などをグローバルに管理する体制を構築する。	同上。	全生産拠点の生産活動に関わる対象法規制リストと順守状況を確認。	-
2-7 ISO 14001 の取得	新規生産・販売拠点は ISO 14001 を取得する。	ベトナムの新工場の ISO 14001 取得。	製造拠点: 1 拠点(ブラザー マシナリー ベトナム Ltd.)	○
<b>3. 法規制と社会動向への対応</b>				
3-1 グローバルな化学物質規制への対応	(1) REACH、RoHS、TSCA など、関連する製品含有化学物質規制法に確実に対応する。	製品含有化学物質規制に対応。	グリーン調達基準書をタイムリーに改訂し、順守状態を維持。	○
	(2) 製品含有化学物質管理の戦略を立案し、2015 年度に業界トップレベルの水準に到達する。	各工場の管理レベルを計る指標を KPI として設定し、活動を推進。	2014 年度の KPI を達成。	○
3-2 グローバルな製品省エネ規制への対応	ErP、ロシア製品規制、韓国エネルギー法、中国能效、日本省エネ法など、関連する製品省エネ規制法にトップレベルの省エネ性能で対応する。	製品省エネ規制に対応。	法規制の改訂日程をいち早くキャッチし、設計に反映。	○

重点施策	中期環境行動計画目標	2014 年度目標	2014 年度実績	自己評価
<b>3. 法規制と社会動向への対応</b>				
3-3 拡大する製造者責任への対応	(1) WEEE/包装材指令などに対応するための当局への提出データの精度を向上させる。	提出データの精度向上に向けて、工場出荷時に製品を計量し、重量変動の確認を継続。	提出データの精度向上に向けて、工場出荷時に製品を計量し、重量変動の確認を継続。	○
	(2) 製品のクローズドリサイクルシステムをグローバルに構築する。	グローバルなシステムを構築。	2015 年度に継続。	○
	(3) 消耗品のリサイクルシステムをグローバルに拡大し、各統括販売拠点への展開を目指す。	リサイクルシステムを各統括販売拠点へ展開。	同上。	○
3-4 製品に関する総合的な環境情報の開示	(1) グローバルに製品の環境負荷情報を開示する。	販社に対し、新製品開示 100%。	環境負荷に関わる仕様をリスト化して開示。	○
	(2) エコデklarレーション(ECMA370)に沿った製品情報を開示する。	ヨーロッパ販社に対し開示 100%。	ヨーロッパ向けおよびアメリカ向けのプリンター・複合機・ラベルプリンター・スキャナーについて、法的要件を含む環境特性を公開。	◎
3-5 認証紙の採用	FSC などの認証紙の採用を推進する。	単年度の目標設定は無し。	国内販社のカタログで FSC 認証紙の使用を開始。	○
3-6 グリーン調達の推進	(1) お取引先(サプライヤー)への監査や教育を強化し、環境に対する意識を高めて法順守を確実なものとする。	グリーン調達基準書の改訂、REACH-SVHC 物質追加に関する事前案内の送付などの情報発信、およびお取引先監査を通じ、お取引先とグループ内のグリーン調達に対する意識の向上を図り、法順守を推進する。	グリーン調達基準書は、年 2 回改訂を実施。 お取引先監査は、計画に従い定期的に実施。	○
	(2) 包装材原料紙の原産地、違法伐採、リサイクルなどの管理体制を構築する。	対象工場でのリサイクル率の把握(5 工場)。EU 木材規則の順守。	対象となる 5 つの工場で、包装材のリサイクル率把握調査を継続。 対象包装材ならびに製品の合法性調査を実施し、合法性を確認。	○
<b>4. 環境コミュニケーション</b>				
4-1 マーケティング活動と一体となった「Brother Earth」の展開	新製品や新事業での環境配慮、ソーシャルメディアを含めた Web サイトからの環境情報の発信、プラネタリウム「Brother Earth(ブラザーアース)」の PR を通じた環境訴求などを推進する。	新製品に搭載される環境技術、従業員が参加する環境保全活動の積極的な発信。	輸送効率を高め、環境負荷を低減する「梱包ダウンサイジング」技術や家庭用ミシンに搭載の「低ノイズベルト駆動」技術、従業員参加の「内モンゴル砂漠化防止プロジェクト」や「タイ マングローブ林再生プロジェクト」を、環境スペシャルサイトや各拠点の Web サイトなどを通じて広報するとともに、Facebook や Twitter、YouTube のブラザー公式 SNS アカウントを利用し、発信範囲を継続して拡大。	○
		環境 Web サイトの品質向上。	日本ブランド戦略研究所の「Eco Site Survey 2015 ランキング」で 3 位、環境省と一般財団法人地球・人間環境フォーラム主催の第 18 回「環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門で優良賞を受賞。	◎
		日本における環境イベントの積極的な推進と環境意識の拡大。	名古屋市科学館と共同で「Brother Earth エコフェス」、「ブラザー グリーンクリスマス 2014~Projection Mapping on Brother Earth~」を開催。 名古屋市東山動植物園へ体感型学習展示施設「KOALA FOREST コアラの森」を寄贈。 国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ 2014」に出展。	◎
4-2 生物多様性保全を中心とした環境保全活動の推進	各地域で従業員参加のもと、生物多様性保全のための環境保全活動をグローバルに実施し、その一部を環境スペシャルサイトで展開されるクリック募金対象活動として掲載し、ステークホルダーの参加も促す。	グローバル 33 拠点で、お客様や従業員が参加する生物多様性保全のための環境保全活動を継続して実施。	43 拠点で実施。	○
4-3 従業員の環境意識向上を通じた地球温暖化防止の推進	「ブラザーエコポイント活動」をグローバルに推進するとともに、拠点別の環境貢献度の測定も進め、従業員の環境意識を向上させることで、グループ全体の CO <sub>2</sub> 排出量削減目標の着実な達成を実現する。	「ブラザーエコポイント活動」への従業員参加率 60%以上(24,600 人以上)。	達成(25,908 人)。	◎